



主要な農作物の生育情報

平成27年度 第10号

(平成28年1月7日)

福島県農林水産部農業振興課



【野菜】

1 秋冬にら

中通り地方では概ね順調に生育しており、平年並に2年株の2番刈り、1年株の2番から3番刈りの収穫が行われています。12月は平年より気温が高く経過したため、平年より葉長が長くなっています。

病害虫は、一部ほ場では白斑葉枯病が発生しています。

2 いちご

概ね順調に生育しており、生育の早いほ場では11月上中旬から収穫が始まり、現在は頂果房の収穫後半を迎えています。頂果房の着果数(収穫果数)は平年並でしたが、収穫時期は昨年より早まりました。第1次腋花房の収穫開始時期は平年並の1月中下旬頃の見込みです。

病害虫は、うどんこ病とハダニ類の発生が見られます。

3 水耕栽培トマト

いわき地方の水耕栽培は順調に生育しており、着果、肥大ともに良好で、収量と品質も平年並です。

病害虫は、一部ほ場で灰色かび病、疫病が発生しています。

【花き】

1 カーネーション

県南地方・いわき地方の「母の日」向けの鉢物カーネーションは、鉢上げ作業が平年並の12月中旬に始まり、1月中旬まで続く見込みです。気温が高く推移したことから、生育はやや進んでいます。

2 トルコギキョウ

会津地方の促成栽培(4~5月出し)の定植は平年並の11月上旬、半促成栽培(6~7月出し)の定植は平年並の11月下旬から12月上旬に行われました。気温が高く推移していることから、活着は良好で順調に生育しています。

3 花木類

県北及び県中地方のウメの出荷は、平年並の12月上旬から始まり、ほぼ終了しています。出荷量は、県北地方が一昨年の雪による枝折れの影響で平年の80%程度でしたが、県中地方は平年並でした。

県中地方のユキヤナギの出荷は平年並の12月中旬から始まりました。気温が高く経過していることから落葉が遅れており、出荷量は平年の70%程度で経過していますが、今後、気温が低下すれば回復する見込みです。

県中地方の東海桜の出荷は、平年並の12月下旬から始まっており、順調に出荷されています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>)等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>